



2 Jul 2012  
Koji Nakano



4 Jul 2012  
Koji Nakano

## ここにしかないヒコーキの風景を求めて 別天地としての 下地島

気温31℃、8月の日差しが目と肌に痛い。だが、吹きぬける潮風が心地よい。沖縄本島から宮古島に飛び、フェリーで伊良部島に移動して、さらにそこからクルマを西に走らせると飛行場につきあたる。

1979年の供用開始以来、パイロット訓練専用飛行場として使用されてきた下地島空港。南の島ののどかな風景に突如として3000メートル×60メートルのランウェイと飛行場管制をつかさどる管制塔が現れる。

青い空にわき立つ白い雲、エメラルドグリーンの海に彩られた島で飛行機がタッチ&ゴーを繰り返す景色は、下地島だけの風景である。この絶景を求めて毎年のように通うヒコーキファンが少なくない。とくに南風が卓越する夏場、珊瑚礁の海を越えてアプローチする飛行機がエメラルド色に染まるシーンは何度見ても感動だ。

今夏も多くの飛行機ファンが来島してにぎわった。ランウェイエンドの外周道路にはレンタカーが結集して、ちよつとした混雑を呈している。タッチ&ゴーを繰り返す飛行機に歓声があがる。潮が引いた海はさらにエメラルド色の明度を上げて美しく染められる。

海水浴やダイビングも楽しめるなどリゾート地としての魅力も豊富な島には、2013年度の完成をめざして宮古島と結ぶ伊良部大橋の建設も進んでいる。ヒコーキの別天地としての下地島は今年の夏、ますます輝いていた。